

# 平成27年度第3回遠野市総合計画審議会 — 議事概要 —

(開催要領)

- 1 日時 平成27年5月13日(水)午後1時30分～午後4時30分
- 2 場所 あえりあ遠野 交流ホール 他
- 3 出席者

(1) 委員

会長	臼井 悦男	遠野市社会福祉協議会会長
副会長	荒田 良治	一般社団法人遠野市観光協会会長
委員	松田 克之	遠野市消防団団長
委員	千葉 和	NPO法人遠野エコネット代表
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野 好宣	遠野市体育協会会長
委員	菊池 一晃	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会副委員長
委員	菊池 一勇	花巻農業協同組合理事
委員	佐々木弘志	遠野商工会長
委員	菊池香南子	遠野市校長会副会長
委員	佐々木國允	遠野市郷土芸能協議会会長
委員	菅沼 隆子	一般財団法人遠野市教育文化振興財団副理事長
委員	内館 充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	海老 糸子	遠野市地域婦人団体協議会会長
委員	木村 稔	岩手県南広域振興局経営企画部長
委員	佐々木栄洋	公募
委員	鳥屋部恵児	公募
委員	高宏 美鈴	公募
代理	工藤 和信	遠野市PTA連合会副会長

(2) 遠野市

本田 敏秋	市長
菊池 孝二	副市長
藤澤 俊明	教育長
菊池 文正	経営企画部長
飛内 雅之	経営企画部まちづくり再生担当部長
菊池 永菜	経営企画部ICT・医師確保担当部長
荻野 優	総務部長
古川 憲	健康福祉部長
佐藤 浩一	産業振興部長
大里 政純	農林畜産部長
畑山 透	環境整備部建設課長
小向 孝子	遠野文化研究センター一部長
小時田光行	消防本部消防長
宮田 実	市民センター市民協働課長
多田 博子	教育部長兼子育て総合支援センター所長
鈴木 英呂	企画総括課長
澤村 一行	財政担当課長
伊藤 貴行	ICT・医師確保担当主幹

- 4 欠席者
- |    |       |                  |
|----|-------|------------------|
| 委員 | 千葉 純子 | 一般社団法人遠野市医師会会長   |
| 委員 | 濱田平八郎 | 遠野地方森林組合代表理事組合長  |
| 委員 | 小松 正真 | 一般社団法人遠野青年会議所理事長 |
| 委員 | 菊池 広樹 | 公募               |
| 委員 | 菊池 浩彦 | 公募               |

(議事次第)

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 出席者報告及び日程説明
- 5 審議
  - (1) 第2次遠野市総合計画基本構想(案)について
    - ア 前回の審議において出された意見への対応について
    - イ 基本構想案の追加資料について
    - ウ 班別審議
    - エ 全体審議
- 6 その他
- 7 閉会

(配付資料)

- 1 次第、名簿
- 2 第2回遠野市総合計画審議会において基本構想案に対して出された意見への対応(案)
- 3 共通優先方針 産業振興・雇用確保と少子化対策・子育て支援

## (議事概要)

### 1 開会

#### ○菊池文正 経営企画部長

本日はお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。ただ今から平成 27 年度第 3 回遠野市総合計画審議会を開催いたします。

初めに、遠野市長からご挨拶を申し上げます。

### 2 市長あいさつ

#### ○本田敏秋 遠野市長

皆さん、たいへんご苦労さまでございます。このような格好（防災服）をしておりますが、今日の 6 時 13 分に震度 5 弱という地震がありました。出勤前、通学前で、通勤、通学、通院などに皆さんが一斉に動き出す時間帯でありました。大きな被害にならなければ良いと思いながら、対応したわけですが、市の行政としての警戒本部が、どのように機能したかを直前まで庁議メンバーで検証しておりました。委員の松田団長も出席いただいておりますが、消防団の方々は、いち早く現場のパトロールに出ていただき、大きな被害は出ていないという報告を受けることができました。

市民の皆さんが一斉に動き出す時間帯でしたので、スクールバスは予定通り来るだろうか、学校は大丈夫だろうか、鶯崎を通ったら列車が止まったまま動かないでいるという状況の中で大丈夫だろうか、「安心してください」「安全です」という情報提供が、どこまで警戒本部として提供できたのかを検証してきました。

私の携帯にも、このようにメールが来ています。6 時 13 分に「緊急地震速報 宮城県沖で地震発生。強い揺れに備えてください。気象庁」と、直ちに入ってくる時代です。その後、このメールを上手に活用できたのか、ほとんど活用できなかったのではないかという話をしてきました。平日頃から良い意味での緊張感を持って対応しなければなりません。今回の地震で、福崎町の嶋田町長さん、南足柄市の加藤市長さん、西米良村の黒木村長さんから「テレビを見ましたが大丈夫ですか」との連絡が次々といただきました。肝心の情報提供の部分では、例えば遠野テレビのネットワークを使って、市民の皆さんに正確な情報を提供するという部分で、大きな教訓を残したという話を今、したところです。

東日本大震災クラスのエネルギーが放出されますと、向こう 10 年間は余震と言われる震度 5 以上の地震が起きることが、歴史的に証明されています。明治 29 年の明治三陸地震の余震が昭和 8 年の昭和三陸地震と 37 年の時を経ています。余震だと定義している学者がいます。今日の場合も、東日本大震災の余震との捉え方ができます。幸い、津波が起きませんでした。一連の火山活動もあれだけのエネルギーが放出されますと、間違いなく火山活動が活発化され、油断はできないということを改めて確認したところです。

さて、今日は 3 回目の総合計画審議会であります。前回も大変貴重な審議をしていただきました。前回の審議会終了後に、会長と協議し、追加提案をすることといたしました。今後、改めて、向こう十年間の遠野市のあるべき姿を見出していかなければならないとなれば、5 つの大綱によりまんべんなくということもありますが、人口減少にどう立ち向かうのか、そのためには雇用の確保、産業振興をどう図っていくのか、子育てするなら遠野というのであれば、もう少しメリハリのある方向に進んでいくとか、それに伴って 5 つの大綱の中でまんべんなくあらゆる分野に気配り、心配りしながら様々な施策を展開していくという基本計画、実施計画になっていくという組み立てで、もうひとひねり、ふたひねりしなければならぬ部分があると思います。

前回の総合計画審議会終了後に、事務局で議論を展開したことを今日、皆さんにご提示しますので、よろしくご挨拶を申し上げます。

### 3 会長あいさつ

#### ○菊池文正 経営企画部長

続きまして、臼井会長よりご挨拶をお願いします。

○臼井悦男 会長

ご苦労さまでございます。今朝の地震では、皆さんも、それぞれの対応があったのではないかと思います。幸い、大きな被害もなく安心しています。

5月7日に続いての審議会で、2班に分かれて議論をしていただきます。

諮問案に対し、皆さんの思いを発言していただき、次回は答申を行いたいと思いますので、ご協力をお願いします。

4 出席者報告及び日程説明

○菊池文正 経営企画部長

4番に入ります。出席者報告及び日程の説明についてです。

本日、委員の皆さま方の出席状況は、25名中代理出席を含めて22名の委員の皆さんに出席いただく予定になっています。欠席の報告は、3番の千葉純子委員、23番の菊池広樹委員、25番の菊池浩彦委員の3名です。市の出席者については、会議資料の2ページ目に記載しておりますので、紹介は省略いたします。

次に、本日の配付資料について、ご確認をお願いします。

一つは、次第と名簿。二つ目は資料No. 1 平成27年度第2回遠野市総合計画審議会において基本構想案に対して出された意見への対応（案）です。三つ目は、資料No. 2基本構想の追加資料（案）です。さらに過日配布しています第2次遠野市総合計画基本構想（案）は、本日お持ちいただいていると思いますが、手元にない方は事務局までお知らせください。

本日の予定です。この後、事務局から前回出された意見への対応について説明します。そのあと審議に入っていただきますが、今回の審議の進め方については、2班に分かれて審議いただくことになっています。限られたスケジュールですが、効率的にご意見をうかがおうと思っています。2班に分かれて審議いただいた後は、全体会で審議結果を発表していただき、ご意見を集約していただくこととなります。班編成は、事務局で行っています。1班は臼井会長に、2班は荒田会長に進行をお願いします。委員の皆さんには、あらかじめ名簿に班名を記載しておりますので、よろしくをお願いします。

本日の終了時刻は、午後4時15分頃を予定しております。

次回は、5月18日（月）に答申を固めていただきたいと思います。

それでは、5の審議事項からは、臼井会長に進行をお願いします。

5 審議

○臼井悦男 会長

それでは、次第の5の審議に入ります。まずは事務局から資料の説明をお願いします。

ア 前回の審議会において出された意見への対応について

○鈴木英呂 企画総括課長

それでは説明に入ります。よろしくをお願いします。

\*下記資料を説明（約10分）

- ・資料No. 1 平成27年度第2回遠野市総合計画審議会において基本構想案に対して出された意見への対応（案）

○臼井悦男 会長

何か確認したい事項等は、ありませんか。

○佐々木弘志 委員

21ページの推計部分について推計式が羅列されていますが、これが必要なのかどうか。各種統計法で推計しましたとかでも良いと思います。

◆鈴木英呂 企画総括課長

佐々木委員の表現の方が、分かりやすいかと思いますが、再度検討します。

○菊池一勇 委員

56 ページの横文字の置き換えについて「遠野牛のブランド化を図る」は「遠野牛の増産に取り組む」となっていますが、増産とブランド化では、意味が違うと思います。ブランド化は、銘柄とかになるとと思います。ブランド化は、産地では普通に使っている言葉だと思います。

◆鈴木英呂 企画総括課長

検討の中では「銘柄化の確立」というのも出ましたが、最終的にここで表したいこととして「増産に取り組む」ということで整理しましたが、再度検討します。

○臼井悦男 会長

それでは、次の資料の説明をお願いします。

イ 基本構想案の追加資料について

○鈴木英呂 企画総括課長

それでは説明に入ります。よろしくをお願いします。

\* 下記資料を説明（約3分）

・ 資料 No. 2 基本構想の追加資料（案）

○臼井悦男 会長

何か、確認したい事項はありませんか。

（特になし）

○佐々木國允 委員

この計画案ができた後の展開をお聞きしたいと思います。市民の意識の改革を、この機会にやるべきだと考えていますが、総合計画ができたなら市民に配布されると思いますが、配って終わりなのか、総合計画を進めるために何かすることがあるのか聞いておきたいです。

◆鈴木英呂 企画総括課長

今回は基本構想ということで、今後 10 年間に遠野市が向かう方向を決めます。そして6月議会に、この案を提案します。基本構想が議決されてから、今度は 12 月の議会に向けた作業になりますので、議員が言われる具体的な事業については、今後審議することとなります。

○佐々木國允 委員

この構想ができた後に、実際に動かしていくためには、市の職員も多数いますので、同じ意識の中で動いていくことが、かなり大きな力になると考えます。具体的に進めていく場合に、地区センターを中心にしたという考え方もあると思いますが、具体的な流れ、市の職員もプロジェクトチームを立ち上げるとかされた方が良くと思いました。

◆鈴木英呂 企画総括課長

今後、基本構想が決まり、具体的な事業の展開に向ける前に、庁内の策定グループ、策定委員を経て、もう一度、基本計画の検討に入ります。市民の皆さんへの周知については、市長と語ろう会や遠野テレビを使ったり、概要版を作成して周知に努めていきます。

○臼井悦男 会長

基本計画策定に向けて、我々も具体化するための提案をしたいと思います。

それでは、班ごとの協議に入りますので、よろしくをお願いします。

ウ 班別審議

**1 班の審議結果**  
(別添のとおり)

**2 班の審議結果**  
(別添のとおり)

**エ 全体審議**

**○臼井悦男 会長**

全体審議を行います。初めに1班の報告をお願いします。  
(1班、2班のまとめた資料を委員、職員に配付)

**○新田正宏 副主幹**

説明します。(別添資料により報告)

**○臼井悦男 会長**

次に2班の報告をお願いします。

**○松田希実 委員**

説明します。(別添資料により報告)

**○臼井悦男 会長**

何か質問や意見はありませんか。  
事務局から、意見等ありますか。

**○菊池孝二 副市長**

基本理念の部分は、決めていただきたいです。

**○鈴木英呂 企画総括課長**

微妙な違いはあると思いますが、それぞれの思いは同じだと思いますので、例えば、多数決とか挙手とは…

**○臼井悦男 会長**

ある程度の傾向は分かると思いますが、話し合いで進めたいと思います。

**○菊池孝二 副市長**

2班では「創造」は10年間使ってきたので、別の言葉にすべきだということでもとまりました。

**○佐々木栄洋 委員**

2班は、かなりの時間をかけてこの部分を議論しました。2班では「進化」ということでまとまったのですが、可能であれば、1班でも一つに絞っていただいてから決めてはどうでしょうか。

**○高宏美鈴 委員**

「創造」について、今まで10年間使ってきたということでしたが、おそらく、分からない人が多いと思います。今後もさらに10年使うのかではなく、もう少し使わないとこれまでの10年もなくなると思います。1班では「進化」は一切出てきませんでした。「創造」と「発展」のどちらかということになり、結果、まとめきれずに、二つにしようとなりました。

**○千葉和 委員**

事務局の説明で、遠野スタイルの創造の説明部分には震災時の後方支援ということで強い絆を発揮したということが書いてあるとおり、総合計画を作った時点からどんどん意味が進化しているということで、ここで決めてもまたどんどん進化してほしいという思いもあり2班では進化だとなりました。創造して終わりではなく、さらに進化させていくということです。

○臼井悦男 会長

配布されている資料によると、「進化」の反対語は「退化」で、「創造」の反対語は「模倣」ですね。

○佐々木國允 委員

1班と2班に共通しているのは、これまでの1次の計画の中で使ってきた「創造」ではない言葉を使った方がよいという部分だと思います。そうすると「進化」か「発展」となりますが、私はやはり「発展」がよいと思います。

○鈴木英呂 企画総括課長

前回の審議会では、河野委員から「進展」との発言もありました。それらも踏まえて次回提案させていただきたいと思います。

○臼井悦男 会長

他についても同じように、なかなか決め難い部分があります。これらは会長、副会長と事務局ということで預かりとさせていただいてよろしいですか。

次回、議論を重ねたいと思いますので、皆さん、よろしくお願いします。

(異議なし)

## 6 その他

○臼井悦男 会長

事務局から何かありますか。

○鈴木英呂 企画総括課長

次回の審議会は、5月18日の月曜日、あえりあ遠野の交流ホールで13時半から行います。

昨日、遠野駅舎中心市街地活性化市民シンポジウムを開催しましたので、その内容について報告します。

○飛内雅之 経営企画部まちづくり再生担当部長

審議会の委員の皆さんにも、多数ご出席いただきました。河野委員が会長をしている遠野駅舎の未来を考える会が主催となって開催し、全体で約220名の参加で、全国の中心市街地の推進協議会の皆さん30数名の参加もありました。福祉によるまちづくり等の講演をしていただき、好評であった。また、荒田副会長等が参加してのパネルディスカッションを開催し、駅は交通機関としてだけでなく、みんなが集まる文化の拠点であるとか、市民が真剣になって取り組まないといけないとの話もありました。最終的には、保存に向けて、駅舎をどのように生かしていくかとなりました。交流会にも100名以上が参加し、大変盛り上がりしました。これをきっかけに、市民の声をJR側に届けていきたいと思いますので、審議会の皆さんのご協力をお願いします。

○千葉和 委員

この前も話した『里山資本主義』を書いた藻谷浩介さんの講演を聞いたのですが、人口減少なども詳しく話していました。できれば、審議会メンバーや市民の方、議員さんなどにも聞いていただく機会を作ってほしいとのお願いです。

## 7 閉会

○菊池文正 経営企画部長

今の件については、持ち帰り検討します。

以上をもちまして、平成 27 年度第 3 回遠野市総合計画審議会を終了させていただきます。  
長時間に渡りまして、ありがとうございました。